

教育課程上の位置付 福祉

実施概要

当校は、高等部職業学科(就業技術科)単独の学校であり、知的障害が軽い生徒を対象に、企業就労に向けた専門的な教育を実施しています。

地域に根ざした学校づくりという観点から、地域へも積極的に出ています。

ふれあいの町田との社会貢献活動は、これまでコミュニケーション交流や合唱などは行っていましたが、手のマッサージ(手浴)には初めて取り組みました。

今回は、職業に関する教科(福祉)に位置付け、高齢者に直接触れる活動を中心に行うため、施設にお願いをして予行練習を4回実施しました。予行練習の間には、手浴をしない利用者からオセロ・将棋の相手になってほしいという要望もいただき、活動の中に取り入れることにしました。

また、予め当校のエコロジーサービスコースの生徒が栽培している花を3週間前から施設に運び入れ、活動当日に手浴マッサージをする場所に飾るようにしました。



手のマッサージは気持ちいい

活動報告 実施日:12月2日(金)

今回は、初めての手浴マッサージを中心に、会話やおセロ・将棋の相手をするなどして楽しんでいただこうという社会貢献活動を行いました。活動は利用者の希望で選べるようにしました。

司会進行はすべて生徒が行いました。着席している利用者には必ず生徒が寄り添って会話を楽しめるようにして、交流を深めました。

当日の手浴マッサージは6名の利用者を受けていただきましたが、予行練習も含めると20名以上になりました。

利用者には手浴マッサージはとて好評で、今後も訪問を期待する声をいただきました。

活動参加者 内訳 当校生徒…14人 引率教員…3人
交流先 利用者…55人 担当職員…3人

交通手段 当校とふれあいの町田の距離はおよそ3km
徒歩で約30分

当日のスケジュール

13:30 学校・施設・さわやか青少年センター・都教委、4者打合せ

14:00 交流開始(学校:生徒司会「始めの言葉」)

14:05 健康体操:季節の動揺、懐かしのメロディー
(健康体操を行っている間に手浴の準備を行う)

14:15 手浴開始 ブース×2ローテーション(一人15分程度)
(手浴以外の利用者は生徒と会話やおセロ・将棋、ケン玉などで交流を行う)

14:50 トーンチャイム演奏(ふるさと) 手話ソング「涙そうそう」

14:55 交流終了(学校:生徒司会「終わりの言葉」、学校・施設挨拶)

活動のために準備したもの

- 手浴の確認書 ●到達度チェック表 ●歌詞カード ●手話歌の練習
 - トーンチャイム楽譜、練習 ●健康体操の練習
- (すべて生徒が主体的に準備した。)

工夫したところ

- 4回通っていく中で、それぞれの方に合った手浴ができるようにいろいろなバージョンを練習した。
- 高齢者の方が好きな歌を練習した。

実施にあたって注意したところ

- 安全に行えるように、お湯の扱い、動線に配慮した。
- 生徒が自信を失わないように、繰り返しの練習を行った。

良かったと思うところ

- 主体的に活動できるようになったこと。
- 前向きな気持ちになれたこと。
- 自信がもてたこと。
- 自分にも役割があると実感できたこと。
- 利用者様に喜んでいただけたこと。

今後に向けての学校からの抱負

この活動を継続させていくこと。生徒が自信をもって活動できるように反復の練習を行いながら実際の活動場所を確保していくこと。

活動の感想

生徒・教員の感想

生徒

●手浴は学校とは環境が違い、戸惑うこともありましたが何回も通っているうちにコツがつかめるようになりました。「こんなに丁寧に洗ってもらったことはないよ」とニコニコして、私に話しかけてくださったのがとてもうれしかったです。今までなかなか自分に自信がもてませんでしたが、今回のことで成長できた気がします。

●今回はレクリエーションを担当しました。皆さんに喜んでいただけるように、笑顔で元よく活動することを心がけました。聴覚障害の方がいらして、手話の歌をとて楽しんでくださいました。難しいこともあきらめずにやり遂げてよかったです。

教員

生徒達は介護演習を学校で行っています。手浴もそのうちの1つです。今回の実習を通して生徒たちは自分たちが社会に貢献できていると実感しました。自分たちが活動することで誰かが喜んでくれることをまさに目の当たりにできたのです。これこそが自ら考え、自分の役割に責任を果たすという姿につながるのだと思います。生徒たちの可能性を感じずにはられない1日でした。

施設の参加利用者・担当者の感想

利用者

- 皆さんと一緒に楽しませていただいています。本当に嬉しゅうございました。また、これからも来ていただきたいです。
- みなさん、なかなか気さくで良い感じの生徒さんです。ありがとうございます。皆さんと一緒に歌うことができ、本当に楽しかった。
- こういうことはいいことだと思う。学校に行くだけでなく、こういうところに来てくれたほうが良い。

支援相談員

本番に向けて何度も施設に足を運んでくださり、生徒の皆さんの一生懸命な姿に、利用者様も元気をもらったと思います。活動の度に利用者様の表情が明るくなり、活動的になっていく姿が印象に残っています。手浴では手が温まるだけでなく、お話を通じた交流が利用者様には嬉しかったようです。また、聴覚障害の方が手話歌で歌詞の意味が分かったと喜んでいらっしゃいました。様々な活動を一緒に行えて、感謝の気持ちでいっぱいです。

■実施までの経過 ※(コ):コーディネーター

8月30日 当校と(コ)、学校で第1回打合せ。新たな施設及び近くに高齢者住宅での交流事業を検討。また、就業技術科の連携交流活動も検討。

9月15日 (コ)、ふれあいの町田を訪問し、事務責任者に協力を依頼。快諾いただく。

9月21日 当校の副校長と(コ)、主な活動内容を検討。手浴をメインにする為、施設に4回の練習を依頼。施設から快諾をいただく。

10月13日 当校と(コ)で、実施日当日の流れと予行練習4回目目三者による打合せを行うことを確認する。

11月30日 ふれあいの町田にて当校の担当教員と支援相談員、(コ)の三者で社会貢献活動当日の最終打合せを行い、当日に至る。



お湯の温度はどうぞですか



手話を交えてみんなで合唱

交流先

医療法人社団 康心会 介護老人保健施設
ふれあいの町田

住 所:東京都町田市小山ヶ丘1-3-7

■施設概要

- 介護老人保健施設 入所定員150名(短期入所療養介護者含む)
- 通所リハビリ 40名
- 療養室 72室
- 「ふれあい町田ホスピタル」と連携し、医学的管理下における看護、介護、機能回復訓練のサービス

実施概要

当校は、高等部就業技術科と肢体不自由教育部門の小学部・中学部・高等部からなる特別支援学校です。

就業技術科では、社会自立・社会貢献を目指し、生徒全員の企業就労を実現するための専門的な教育を推進しています。

就業技術科には家庭・福祉系列と流通・サービス系列があり、家政・福祉系列における「食品加工コース」では、レストランでの調理・接客を学び地域の方とふれあっています。「介護コミュニケーションコース」では、高齢者施設に出向き、施設内の清掃・ベッドメイキング等を行い、おもてなしの心と介護技術等を学んでいます。

今回は、流通・サービス系列の「流通・都市農園芸コース」の生徒が、区内の公園において、地域のボランティアの方と一緒に花壇・植栽整備を行ない、ふれあい交流を行いました。



植える位置決めを丁寧に

活動報告 実施日：11月8日(火)

今回は、板橋区内344カ所の中から約80カ所で実施されている「花づくりグループ」の中から、西徳第一公園花づくりボランティアの皆さんと一緒に、花壇整備を行うことにしました。ボランティアの皆さんは全員60歳以上の方々です。

会場は板橋区西徳第一公園で、当日は晴天に恵まれ、実施に至りました。公園内の花壇のところに集まり挨拶の後、花づくりボランティアの方からまず指導を受け、随時アドバイスを受けながら、一緒に除草作業を行いながらのふれあい交流となりました。

休憩をはさんだ後、生徒全員で花壇に等間隔で種類の異なる花をバランスよく植えました。

終了時には、ボランティアの方が花の見ごろの年明け3月頃に是非また来て欲しいとお願いされ、再度の来訪を約束しました。

活動参加者 当校 参加生徒…9人 引率教員…3人
内訳 交流先 参加者…4人 担当職員…3人

交通手段 当校と西徳第一公園(団体活動拠点)の距離はおおよそ1.5km 徒歩で約10分

当日のスケジュール

- 9:30 学校・団体・板橋区土木部みどり公園課・さわやか青少年センター・都教委、5者打合せ
- 10:00 西徳第一公園、開会あいさつ、花の配布、花壇整備
- 11:35 作業終了
閉会にあたっての感想を伺う
- 11:45 閉会の言葉、終了

活動のために準備したもの

事前の打ち合わせで作業内容を確認できたので、必要な機材の手入れをして、当日に臨んだ。(スコップの準備、区画割のためのひも等)

工夫したところ

活動場所まで学校から徒歩10分程度であるが、花壇作業に必要な機材を安全に運ぶことについて、工夫した。

実施にあたって注意したところ

花壇づくりは、授業やクラブ活動で頻繁に実施しているので、作業の時間配分と進行の様子が予め想定できた。しかし、地域住民との共同作業は初めてであるため、花づくりグループの代表の方との意思疎通が何よりも重要であるとの認識をもって事前打ち合わせに臨んだ。

良かったと思うところ

- 生徒たちの様子から、社会貢献活動に興味をもっているのを感じた。
- 生徒の挨拶の仕方、言葉遣い、初めて会う大人に接するときの態度が良かったこと。
- 生徒たちが共同作業をした地域住民の方々の作業手順に臨機応変に対応し、高齢者の手助けになったことは期待以上であり、生徒たちの成長を強く感じる事ができた。

今後に向けての学校からの抱負

- 本校の授業で育てた苗も花壇材料として提供できる。
- 次回は一部提供することで更に地域住民との連帯感、共同作業としての意識が上がると考えられる。

活動の感想

生徒・教員の感想

生徒

- 地域の方々が作業方法を優しく教えてくれたので勉強になった。良い経験になった。チューリップの花が咲くのが楽しみです。
- 植え付け準備の時、土の中にツツジの根がたくさん残っていて、最初、取り除くのが大変だったが、地域住民の方にコツを教えてもらったら簡単にできた。

教員

地域の公園で住民の方々と共に花壇づくりの社会貢献活動することに生徒たちは興味をもち、意欲的に参加した。本校生徒の挨拶の仕方、言葉遣い、大人に接するときの態度がとても良いのは、日頃の教育活動の成果である。地域住民の方々の指示に臨機応変に対応して作業ができた。代表の方から生徒の活躍を褒め、感謝の言葉をいただき、今後も継続したいと感想を述べられたことから、初めての取り組みは大成功であった。

団体の参加者・担当者の感想

参加者

- この花壇は、地域の憩いの場所なので、是非、今後も一緒に手伝ってほしいです。本当に、ありがとうございました。
- 来年、3月には、チューリップが咲くので、是非、見に来てください。
- 板橋区の花壇は、皆さんの協力があって成り立っています。次回も、是非、ご協力ください。
- これからも、区内の公園で、皆さんと一緒に花壇づくりができる場所を考えますので、その時は、よろしくお願いします。

団体会長

今回は、地元花づくりボランティアと高校生と一緒に花壇整備をするという話をいただき、大変、素晴らしいことだと思いました。当日は、朝早くから先生の引率の元、短い時間でしたが、一緒に汗を流すことができました。また、区の担当課の方からも、次回につながる話をいただき、私たちも生徒に負けたくない、頑張りたいと思います。ぜひ、花が咲くころ、また、来てください。区民の方が花壇を囲んでいますよ。

■ 実施までの経過 ※(コ)：コーディネーター

- 8月22日 当校にて、第1回打合せ。事業内容の確認。
(コ)、副校長にて①通学乗降駅の花壇整備、②図書館周辺の花壇整備、③区内の施設での植栽を行う、の3案で検討し、③案に決める。
- 9月5日 板橋区土木部工事課土木事務所の所長を訪ねる。
趣旨に賛同いただき、みどりと公園課公園管理グループ係長を紹介いただく。係長から「西徳第二公園」の紹介を受ける。
- 10月3日 当校にて、(コ)、板橋区みどりと公園課係長、主査と打合せを行い、日程を調整、準備等について確認する。
- 10月24日 (コ)、板橋区みどりと公園課係長と打合せ。「西徳第二公園」から「西徳第一公園」に会場を変更する。志村学園に報告し、了承を得て当日に至る。

交流先



花づくりグループ

(西徳第一公園)

事務局：東京都板橋区板橋2-66-1 板橋区役所 土木部みどりと公園課内

■ 団体概要

当会は、板橋区土木部みどりと公園課に登録する、地元有志によるボランティア団体です。会員は、西徳第一公園の花壇管理を行い、区より年二回配布される花の苗を花壇に植えています。



スコップを踏む時は、腰を入れるんだよ



花壇作りって、こんなに力仕事だったんだ

教育課程上の位置付 特別活動(委員会活動)

実施概要

当校は、卒業後に生徒全員が企業就労を目指す高等部就業技術科の特別支援学校として平成27年度に仮校舎で開校して、現在1年生と2年生が在籍しています。来年度は新校舎に移転するとともに、肢体不自由教育部門も開設します。

現在、社会貢献活動は社会貢献をできる人材づくりを目指して、ボランティア委員会を中心に、葛飾区の花いっぱい運動への参加や地域のスポーツフェスタでの貢献などを行っています。

今回は、高齢者を対象とする社会貢献活動ということで、ボランティア委員会の生徒が近隣にある社会福祉法人仁生社水元ふれあいの家に活動を働きかけることにしました。水元ふれあいの家には生徒が見学するという形での訪問交流はありましたが、社会貢献活動の対象としたことはなく、初めての社会貢献活動となりました。



お手玉が真ん中に飛び込むと歓声上がる

活動報告

実施日:11月16日(水)

水元ふれあいの家は要介護の利用者が多く、ほとんどの方が車いすを利用しているという状況でした。

そこで、施設の参加者が取り組みやすい活動を考え、最初は生徒から歌のプレゼントを行い、その後、歌詞カードを作成してお渡しし、一緒に歌って楽しんでいただきました。

次に、施設に入所者の一人が大変民謡がうまいという話から、生徒に「会津磐梯山」を教えていただきました。

また、より交流を深めるために施設が良く使うお手玉で簡単な「お手玉ダーツ」ゲームを考案し、生徒が運営して大変喜ばれました。

最後に、副校長から利用者に御礼を述べ、活動を終了しました。

活動参加者 内訳 当校 生徒…20人 引率教員…3人
交流先 利用者…23人 担当職員…2人

交通手段 当校と水元ふれあいの家の距離はおよそ60m
徒歩で約2分

当日のスケジュール

14:45 学校・施設・さわやか青少年センター・都教委、4者打合せ

15:15 学校挨拶(生徒代表紹介)・施設挨拶

生徒による歌(365日の紙飛行機、上を向いて歩こう)

民謡(会津磐梯山)を施設の高齢者の方が唄う。

(いずれも歌詞カードを学校が作成し、施設の参加者にも渡して一緒に歌えるようにする。)

ゲーム(お手玉ダーツ)

15:57 学校御礼の挨拶・施設挨拶

生徒が参加した方々にお礼の挨拶をし、終了する。

活動のために準備したもの

- ゲーム的 ● ゲームの得点板 ● プラグラム
- 歌詞カード ● 名札

工夫したところ

- 生徒が司会進行をするために、原稿を用意し、練習をした。
- 交流ができるように、ゲームの内容を誰もができるものにした。

実施にあたって注意したところ

- 高齢者、生徒がお互いに楽しめるように、共通に歌える歌を練習した。
- 高齢者施設への訪問だったので、体調管理を意識できるようにした。

良かったと思うところ

- お手玉ダーツは、高齢者と同様に生徒も楽しんでいた。
- 「上を向いて歩こう」は、高齢者の方も歌っていたので、生徒たちも「一緒に歌えた」と実感できた。

今後に向けての学校からの抱負

今回は初回だったので、なかなか高齢者と積極的に関われなかったので、生徒が積極的に高齢者と関われるようにしていきたい。

活動の感想

生徒・教員の感想

生徒

- 高齢者施設「ふれあいの家」でこのような交流会をやるのは、初めてだったので、どんな感じになるのかが分かりませんでした。歌を歌った時は、高齢者のみなさんも歌ってくれていたのでも良かったです。お手玉ダーツも楽しくできました。
- 今日、高齢者の方とふれあいをさせて頂きました。とてもこころよく迎えて頂き、ありがたかったです。「365日の紙飛行機」は知らない方もいましたが、「上を向いて歩こう」は歌っている人がいてよかったです。
- お手玉ダーツはとても楽しそうにして頂き嬉しかったです。私も楽しみました。

教員

今回、高齢者との「交流会」が初めてということで、生徒たちは緊張していたようでしたが、楽しむことができました。高齢者の方々も、高校生と一緒に歌を歌ったり、ゲームをしたりして、笑顔で楽しそうに活動しているのが伝わってきました。とても嬉しく思いました。また、生徒たちが高齢者とコミュニケーションをとるために、引き続き交流する機会を重ねていきたいと思えます。

施設の参加利用者・担当者の感想

利用者

- 私は歌が好きなんです。ですから喜んでます。
- このようなことは、私は初めて経験しました。こういうことはいいですね。何だか自分も若くなったような気がしました。
- 良かったですね。たまにはこういうことがあった方がいいですね。ありがとうございました。

施設長

生徒による歌のプレゼントから始まり、生徒と利用者が合唱する頃には双方の緊張感もほぐれ、穏やかな雰囲気になりました。お手玉ダーツでは生徒と利用者4人一組でチームをつくり、床に置いた的に向け、お手玉を投げ得点をチーム同士で競うものでした。高得点の真ん中に当たれば大騒ぎ、外れればがっかりと楽しい一時でした。

■ 実施までの経過 ※ (コ):コーディネーター

8月23日 校長、副校長、担当教員(ボランティア委員会顧問)と(コ)で第1回打合せを行う。隣接の施設との交流が提案され、(コ)同意する。その後、施設の施設長を副校長、担当教員、(コ)の3者で訪問、学校の意向を伝えて施設長の賛同を得る。

8月31日 担当教員と(コ)で施設を訪問し、施設長、担当の生活相談員と活動の内容について協議し、会場、導線等を確認する。

11月14日 施設において担当教員、(コ)と施設長、担当の生活相談員と最終打合せを行い、当日に至る。

交流先



社会福祉法人仁生社 特別養護老人ホーム
水元ふれあいの家

住 所:東京都葛飾区水元一丁目26番20号

■ 施設概要

- 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 入所定員90名
- 短期入所生活介護事業(ショートステイ) 空床型
- 通所介護事業(デイサービス) 1日25名
- 地域包括支援センター



歌詞カードをお渡ししてみんなで歌う



お返しは私の得意な民謡会津磐梯山

東京都教育庁委託

平成28年度 東京都立特別支援学校における
社会貢献活動モデル事業 実践事例集

平成29年2月発行

業務委託：認定NPO法人さわやか青少年センター

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-24-17 丸華ビル5階
認定NPO法人さわやか青少年センター事業所
電話番号 03-6279-9236
FAX番号 03-6279-9256
